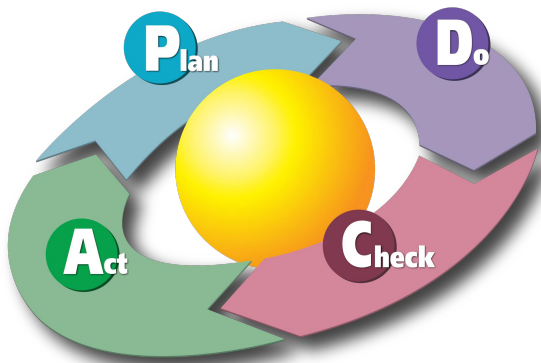


資格検定NEWS



品質管理検定(QC検定)について

皆さんが今後就職をして企業で働くようになると、企業においてはさまざまなルールがあり、それに従って働く必要があります。その中では、良い製品やサービスを生み出すための色々な活動があり、それを総称して「品質管理」もしくは「品質管理活動」と呼んでいます。

気になる言葉--朝日新聞<折々の言葉>より--

朝日新聞の第一面に、毎日、哲学者の鷲田清一(わしだきよかず)が選んだ言葉を読者に紹介する「折々のことば」という記事がある。人としての生き方を考える契機になる言葉が多く紹介されてきた。

このコーナーに最近登場した2つの言葉を紹介する。

高校を卒業して、社会人として歩む時に、あなたはどのような人間を目指しますか。

俺は聞いていない



会社でも役所でも、がちとした組織で何か事が起こると、決まってこう口走る上司がいる。聞いていないのではなく、聞こうとしなかったのに。状況を俯瞰(ふかん)して異様な気配を人より先に察知し、きちんとした指示を出さなかったことの弁明のはずが、部下への叱責(しっせき)にすり替わる。こういう上司はそのまた上司の顔色をうかがうばかり。聞くことも判断することも放棄している。(5月23日)

取材は「おもしろいってわかってる」から行くんじゃない。「おもしろそう」だから行く

<都築響一>

会議でアイデアを持ち寄っても、それぞれ不十分なところをあげつらい、結局はつぶしあいに終わって、無難な、ということとはつまらない案だけが残る。未知の不確定なものだけど「おもしろそう」、という発端のぞくぞくした気持ちがそがれてしまうから。何がはやるかという意識をまずは捨てなければ斬新な企画はできないと、編集のベテランは言う。「圏外編集者」から。(2月18日)

美術は人と異なったことをして褒められることはあっても叱られることはありません。

<北川フラム>

だれをも「一」と捉え、それ以上とも以下とも考えないこと。これは民主主義の原則だ。しかしここで「一」は同質の単位のことではない。一人一人の存在を違うものとして尊重すること。人をまとめ、平均化し、同じ方向を向けようとする動きを、美術は敏感に察知し、それに抗(あらが)う。越後妻有(つまり)や瀬戸内の芸術祭に取り組んできたアートディレクターの「ひらく美術」から。(4月6日)

多くの企業の場合、品質管理部や品質保証部、品質管理課、品質保証課などといった部署がありますが、これらの部署だけで品質管理を行っているわけではありません。製品を作っていたり、サービスをしたり、製品を運んだり、原材料を購入したりと企業の中のあらゆる部署が協力して行っているものです。

無料でダウンロードができる「4級用テキスト」を使って、あなたも4級からチャレンジしてみませんか。

4級用テキスト ダウンロード
<http://www.jsa.or.jp/kentei/qc5.html>

